

令和6年度第1回市民が主役のまちづくり事業支援委員会会議録

1. 開催日 令和6年6月17日(月)
2. 時間 午後1時00分から午後3時30分
3. 開催場所 君津市役所 5階大会議室
4. 議題 (1)令和6年度2次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて
(2)令和6年度2次募集申請事業の採択協議について
(3)令和5年度実施事業の実績報告について
5. 公開又は非公開の別
(1)(3)については、公開。(2)については委員の自由な討論が制限されると認められるため非公開(君津市審議会等の会議の公開に関する規則第4条第1項第2号)。
6. 出席委員 11名
榎本 光男 小林 一臣 佐藤 ますみ 四宮 美智江
鈴木 節子 鈴木 富雄 座間 信子 永井 直樹
新田 力男 二瓶 華織 小倉 満
7. 出席職員 6名
市民生活部長 村越 護
市民生活部次長 開田 雅典
市民生活部地域づくり課長 正源 尚紀
市民生活部地域づくり課副課長
兼 市民活動支援係長 小高 徹
市民活動支援係副主査 中村 亮彦
市民活動支援係主任主事 佐藤 玲子
8. 傍聴者 なし

開会(午後 1 時 10 分)

正源課長 それでは、ただいまより、令和 6 年度第 1 回市民が主役のまちづくり事業支援委員会を開催いたします。

引き続き、司会進行を務めさせていただきます地域づくり課の正源です。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、委員改選後初めての委員会で、新任された委員の方もいらっしゃいますので、委員および事務局職員の紹介を行います。大変恐縮ですが、榎本委員から順に、自席で自己紹介をお願いできればと思います。

— 委員自己紹介 —

正源課長 委員の皆さま、ありがとうございます。次に市民生活部長の村越から事務局職員の紹介をさせていただきます。

村越部長 — 職員紹介 —

正源課長 本日は、黒川委員が欠席のため、出席委員は 11 名でございます。よって定足数に達しておりますので、議事に入らせていただきます。

なお、本委員会は、君津市審議会等の会議の公表に関する規則に基づき公開されておりますが、本日の傍聴者はおりません。

また、本委員会の会議録は、後日、市のホームページで公開されますので、ご了承願います。

それでは、議事に入ります。

村越部長 本日の議題は、事前に配布しました次第のとおりとなっております。

ここで、本委員会が委員改選後、第 1 回目の委員会であるため、委員長・副委員長が決定されるまでの間、事務局にて議事を進行いたしますので、ご了承のほどよろしくお願いいたします。

それでは、わたくしの方で議事を進行させていただきますので、ご協力をお願い申し上げます。

議題 1 「委員長・副委員長の選任について」

村越部長 お手元のファイルの中ほど、「市民が主役のまちづくり事業支援委員会設置要綱」をご覧ください。要綱第 4 条第 2 項に「委員長及び副委員長は、委員の互選により選出する者をもって充てる」と規定されておりますので、委員の皆さまの互選によりまして委員長及び副委員長を選出していただくものでございます。

選出の方法としまして、選挙、推選などが考えられますが、委員の皆様のご意見をお伺いします。

新田委員	はい。
村越部長	新田委員どうぞ。
新田委員	一括して指名推選。
村越部長	新田委員より、一括して指名推選という発言がありましたが、委員長・副委員長との互選は、一括して指名推選により行うことに、ご異議ございませんか。
全委員	意義ありません。
村越部長	ご異議ないものと認め、委員長・副委員長との互選は一括して指名推選により行います。 どなたか委員長・副委員長のご指名をお願いいたします。
新田委員	はい。
村越部長	新田委員どうぞ。
新田委員	委員長に榎本委員、副委員長に小林委員
村越部長	ただいま、新田委員より、委員長に榎本委員、副委員長に小林委員との発言がありましたが、これにご異議ありませんか。
全委員	意義ありません。
村越部長	ありがとうございます。それでは、ご異議がないようですので、委員長に榎本委員、副委員長に小林委員を選出することに決定いたします。 ここで、榎本委員、小林委員には、委員長席・副委員長席への移動がありますので、暫時、休憩とさせていただきます。
正源課長	再開します。 ここで、榎本委員長、小林副委員長に一言ずつご挨拶をお願いできればと思います。
榎本委員長	— 委員長挨拶 —
小林副委員長	— 副委員長挨拶 —
正源課長	ありがとうございました。 それでは、委員会設置要綱第5条第1項により、榎本委員長に進行をお願いいたします。

議題2「令和5年度2次募集申請事業（5団体）の公開プレゼンテーションについて」

榎本委員長	それではさっそく議事を進行させていただきます。 議題2「令和5年度実施事業の実績報告について」を議題といたします。 事務局からの説明を求めます。
事務局	それでは、令和5年度実施事業の実績について、説明いたします。

お手元のファイルのインデックス一番下、「実績報告」のページをお開きください。

はじめに、2の「実施事業」についてですが、令和5年度は、14事業が採択されましたが、うち1団体が事業を中止しましたので、実施事業は13事業となります。

全体の決算事業額は409万3,295円、補助金額は371万1,227円です。

内訳は、1枚めくっていただいた一覧表のとおりです。右から2列目の「事業費(決算)」が事業にかかった全費用の決算額、一番右の「交付確定額」が最終的な補助金の交付金額になります。事業費(決算)と交付確定額が、異なる団体がありますが、補助割合を設定している事業区分や、補助金の限度額が設けられている事業区分があるため、このようになっております。

元の「実績報告」のページに戻ります。概ね予定通り事業が実施されましたが、予算額に対し決算額が大きく変動した事業については、3の「事業説明」に理由を記載しておりますので、ご確認ください。

それでは、各事業の令和5年度活動内容について、説明いたします。

まず、インデックスの「1番」をお開きください。

事業番号1「地域内道路環境の美化推進事業」、団体名は「利根道路美化推進班」です。事業区分は「地域ボランティア」で、申請は7回目となります。

利根地域の市道・県道の路肩の草刈及び美化活動や、植栽樹への草花の植付け等を行いました。写真は、花壇の植栽の様子と、道路の除草作業の成果です。

続いて、インデックスの「2番」をお開きください。

事業番号2、「宮下川環境美化推進事業」、団体名は「宮下緑地をきれいにする会」です。事業区分は「地域ボランティア」で、申請は4回目となります。

宮下川流域の除草作業や清掃活動、ニッコウキスゲの植栽や管理を行いました。秋には、周南小学校6年生との共同活動で、ニッコウキスゲの植栽を行っています。写真は、秋に行った周南小学校との共同活動の様子です。

続いて、インデックスの「3番」をお開きください。

事業番号3、「小櫃のふるさと環境整備」、団体名は「小櫃地域ふるさと活性化組合(そうじいや)」です。事業区分は「地域ボランティア」で、申請は10回目となります。

小櫃地区の県道・国道の草刈や砂取り等の環境美化活動、通学路周辺への花の植栽や管理を行いました。写真は、花の植栽や草刈りなど道路の環境美化活動の様子です。

続いて、インデックスの「4番」をお開きください。

事業番号4、「かずさっ子の居場所づくり」、団体名は「かずさっ子クラブ」です。事業区分は「子どもの居場所づくり」で、申請は3回目となります。

上総小学校や君津市森林体験交流センターを会場に、毎週木曜日の放課後に子どもたちの見守り活動や、参加者の子どもたちが主体となって開催した「かずさっ子祭り」を実施しました。写真は、団体が発行している「かずさっ子通信」です。令和5年度は6回発行され、上総小学校の全校生徒に配布、上総地区の自治会回覧で回覧されました。

続いて、インデックスの「5番」をお開きください。

事業番号5、「SCP（清和コミュニティパーク）創造プロジェクト」、団体名は「SCP創り隊」です。事業区分は「子どもの居場所づくり」で、申請は5回目となります。

主に清和小学校を会場に、月に2～4回のペースで、放課後こども教室や夏祭り、ハロウィンパーティ等を開催しました。写真は、放課後こども教室の様子です。

次にインデックスの「6番」をお開きください。

事業番号6番、「福祉のまちづくりを推進するプロジェクト」、団体名は「プロジェクトK」です。事業区分は「自由企画」で、申請は3回目となります。

障がいを持つ方の生活の様子等取材し、動画で紹介しました。また、生涯学習交流センターにて、中学生を対象に視覚障害やガイドヘルプの体験を行う体験型フォーラムの開催や、君津市役所にて、君津市障害者週間イベントで活動の紹介を行いました。写真は、福祉体験フォーラムの様子です。

次にインデックスの「7番」をお開きください。

事業番号7番、「猫と人間とが共存できる環境づくり」、団体名は「猫レンジャー」です。事業区分は「自由企画」で、申請は4回目となります。

月2回ジョイフル本田ペットセンターにて譲渡会を実施しました。また、野良猫の捕獲をし、避妊去勢手術を行い、元の場所へ返すという支援も行っており、令和5年度の途中から、市の環境衛生課と連携した「さくらねこ無料不妊手術事業」に取り組まれています。令和5年度が活動紹介リーフレットが完成し、譲渡会や公民館の文化祭等での配布を行いました。

た。写真は、保護猫施設の様子と、譲渡会ポスター、活動紹介リーフレットです。

インデックスの「8番」をお開きください。

事業番号8、「君津青葉高校生と取り組む久留里・上総小櫃地区花いっぱい運動」、団体名は「君津青葉花いっぱい委員会」です。事業区分は「未来の担い手」で、申請は2回目となります。

花壇に植栽する草花や植え付け方法を検討し、久留里・小櫃地区の団体向けに定植方法や管理方法の説明会を行いました。また、地域の小中学校を訪問し、卒業式装飾用の鉢花の装飾方法や管理方法の説明会も行いました。写真は、地域の団体との定植作業で、高校生が植え付け方法等について説明している様子です。

インデックスの「9番」をお開きください。

事業番号9、「地域内外の交流拠点「清和ウェルカムハウス」、団体名は「コミュニティ清和」です。事業区分は「地域の交流の場づくり」で、申請は1回目となります。

地域の空き家を借り受け、リフォーム作業を行い、そこを拠点として、ワークショップや空き家ツアーを実施しました。また、アクティビティ情報サイトを開設し、清和を満喫するアクティビティを検索できるよう整備を進めました。写真は、拠点となる空き家のリフォーム作業の様子です。

インデックスの「10番」をお開きください。

事業番号10番、「清和の魅力探訪ウォーク」、団体名は「NPO 法人いきいき清和」です。事業区分は「地域の交流の場づくり」で、申請は1回目となります。

参加者を募集して開催した「清和の魅力探訪ウォーク」を通し、地域内外からの参加者の視点で掘り起こした清和の魅力を、ガイドブックにまとめて発行しました。写真は、探訪ウォーク開催時の様子です。

インデックスの「11番」をお開きください。

事業番号11番、「学生の学び合い事業」、団体名は「かずさサスティナブルリンク」です。事業区分は「子どもの居場所づくり」で、申請は1回目となります。

自主的な学び合いの場を作るため、年末から活動を開始しましたが、年末年始や受験期と重なり、参加者集めに苦戦しました。写真は、子ども食堂など、複合的に活動を展開し始めた、令和6年度の活動の様子です。

インデックスの「12番」をお開きください。

事業番号12番、「地域健康サポート」、団体名は「リンクコミュニティケア」です。事業区分は「自由企画」で、申請は1回目となります。

自治会の青年館を拠点に、健康相談の受付や、病院・ハローワークへの付き添いを行いました。また、地域から依頼を受け、地域の消防訓練で救護室ブースを担当しました。

インデックスの「13番」をお開きください。

事業番号13、「君津の朝めし」、団体名も「君津の朝めし」です。事業区分は「地域の交流の場づくり」で、申請は1回目となります。

地域内の働き手募集や、委員会でも視察に伺った体験会、文化祭出店のぼり作成等を行い、令和6年度の本格始動に向けた準備を行いました。

令和5年度の実績報告は、以上です。

榎本委員長

事務局の説明が終わりました。

ご質問などがありましたらお願いいたします。

新田委員

1団体が途中でおやめになったとおっしゃいましたが、言い換えれば、私たちの審査が甘かったのかなというところもあるのですが、どのような団体が、どのような理由で辞められたのかお聞かせください。

事務局

「こいとのかきこり隊」という竹を切って活動する団体がございました。当初、こちらの委員会で採択いただきましたが、その後、チップーという竹を切る機械を購入できる別の補助金を使えることになったということで、こちらの支援事業では補助対象外でしたので、事業内容は変わらず、より良い補助内容の補助金に切り替えられて、こちらの補助金は辞退されたということです。

新田委員

もともと、審査時にこの件については、彼らは県の対象ではないということをおっしゃっていましたよね。それは、いつの間にか対象になったという、こういうことですか。

事務局

補助金がなくて対象にならないということだったのですが、その後、先方に掛け合ったところ、その補助金を使えるということで、状況が変わったということで、年度途中だったのですが、そちらに切り替えるということで話を伺っています。

榎本委員長

事業的にはいいことだと思っていました。こちらの補助金では機械を購入するお金は出ないということで、事業そのものは継続されるということですので、こちらの審査がどうということではないようです。

11番の参加人数がひとり。これの説明をお願いします。

事務局

11番のかずさサスティナブルリンクの実績について、ご質問がありました。受験期と重なったということもあって、5年度は集客がうまくいかなかったという反省点を伺っております。

6年度は、学び合いの事業と一緒に、子ども食堂の事業も周南公民館でスタートしているということで、複合的な活動で集客につなげていきたい

ということで、今後も見守っていきます。

榎本委員長

ほかにいかがですか。

(発言するものなし)

それでは、これで議題2を終了とします。

議題3「令和6年度2次募集2次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて」

議題4「令和6年度2次募集申請事業の採択協議について」

榎本委員長

続いて、議題3「令和6年度2次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて」、議題4「令和6年度2次募集申請事業の採択協議について」事務局からの説明を求めます。

事務局

それでは、「議題3 令和6年度2次募集申請事業の公開プレゼンテーションについて」「議題4 令和6年度2次募集申請事業の採択協議について」ご説明をさせていただきます。

まず、本日のスケジュールからご説明いたします。ファイルに綴じてあるインデックス「スケジュール」をご覧ください。

本日のプレゼンテーションは、3件です。1時30分からプレゼンテーションを開始し、終了時刻は3時15分を予定しております。

次に審査方法についてご説明いたします。インデックスの5番目に綴じてあります、「審査要領」をご覧ください。

審査は、応募書類と団体によるプレゼンテーションをもとに行います。今回はすべて新規事業となるため、発表時間は、1団体につきプレゼンテーション10分、質問時間10分の計20分といたします。

審査にあたっては、ホチキス止めの事前審査結果一覧表をご覧ください。1枚めくっていただきますと事業番号順に事前審査表がございます。1ページ目が要件審査となっております、2ページ目が事業内容の審査となっております。

事業内容の審査に記載されている審査項目を主なポイントとして評価していただきたいと思いますので、プレゼンテーションを受ける際には、審査項目に留意しながらお聞きいただければと思います。

なお、この事前審査表には、事務局の予備審査による点数等が記載されております。こちらは、要件審査欄の○×を含めて、事務局採点の平均値であって、たたき台としてお示しするものであります。各団体側には点数を伝えておりませんので、その点、ご留意いただければと思います。

また、事前審査における「自立性」の項目の評価基準について説明させていただきます。事前審査結果一覧表の下にも記載しましたが、事務局の

事前審査では、「自立性」を予算の数字で評価が出る設定になっています。そのため、団体では出来ない部分のみ委託費として予算に計上し、自分たちが汗をかく活動に経費が発生しない事業計画となっている場合、自立した活動であっても、評価が低くなっている可能性があります。そのため、この事前審査はあくまで参考にしていただき、団体のプレゼンテーションを聞いて委員の皆様にご判断いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、事前に送付した「採択決定方法」と本日配布したA3の「市民が主役のまちづくり事業審査票」をご覧ください。

委員の皆さまには、各団体のプレゼンテーション終了ごとに、評価できる点や不十分な点、採択にあたって条件を付ける必要がある点など協議していただき、団体のプレゼンテーション・事務局の事前評価・委員の皆さまの協議でのご意見を踏まえた上で、事業審査票の委員評価の欄を記入していただきます。委員評価の欄に、点数が記載されておりますので、該当する点数を丸で囲ってください。

また、採点点数が高かった項目、低い項目を中心にその理由について、記入をお願いいたします。

全団体のプレゼンテーション終了後、審査票を回収させていただき、事務局で集計を行います。集計結果が出ましたら、採択判断および順位について、委員長からご報告いたします。採択にあたり、付帯条件が必要と判断される場合は、協議を行い、条件を決定します。順位に従い予算配分を行った最終的な採否について、本日の審査会の結果をもとに、市長が決定いたします。

以上で、説明を終わります。

榎本委員長 事務局の説明が終わりました。ご質問などがありましたらお願いいたします。

(発言するものなし)

それでは、これで議題3・議題4を終了とします。発表団体の準備が整い次第、プレゼンテーション審査と開始いたします。

事業番号 13

事業名 浅間山遊歩道整備事業

団体名 養会

発表者 山田氏

プレゼンテーション

榎本委員長 事業番号13番、事業名「浅間山遊歩道整備事業」のプレゼンテーション

を始めます。発表時間が10分、質疑応答が10分となります。団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

団体 — 画面共有にて説明 —

質疑応答

新田委員 素晴らしい計画だと思います。何年がかりで達成するかという方針のようなものはあるでしょうか。

団体 当初考えていた資料館までのルートではなく、三峯神社までのルートとしましたので、その範囲であれば、今年度できれいになると思います。あとは定期的な草刈など必要になると思いますので、様子を見て活動していきます。

新田委員 1年の活動では物足りないのではないかと思います。

団体 養会は、これに限った活動ではなくて、必要だと思う活動をテーマを決めて毎年やっていきますので、来年この活動を継続する可能性もありますし、他の活動を行う可能性もあります。

榎本委員長 危険な個所はありますか？

団体 当初予定していた範囲は、倒木もあり、崖などありますが、この範囲であれば、危険な個所は少ないです。

鈴木委員 私も久留里で、三峯の会に入っています。年に1回整備しているエリアが含まれている。連携はどうなっていますか。

団体 今回、活動に参加したメンバーには、商工会の方（三峯の会メンバー）もいる。

鈴木委員 顔見知りではあると思うが、行動としては一緒にやっていない。一緒にやった方が効率がいいと思うが、いかがでしょうか。

団体 これを機会に、予算がとれれば看板を変えたり等もできるし、一緒にやれたらいいのかなとは思っています。

新田委員 神社ということですが、氏子さんはいますか？

団体 三峯神社は、氏子ではなく講の会と言っていました。

新田委員 その人たちが年間何回か整備はしているのですか？

鈴木委員 三峯本山の方にお参りに行く前に整備をしている。ただ年配の方が多いので大変ですが、一応やっています。

団体 そのように聞いています。

四宮委員 距離はどれくらいですか。

団体 入り口から上までは1キロないでしょうね。奥の方まで緑を求めて、資料館の方に向かって国有林の手前までハイキング的に行こうとすれば、1キロは楽しんで歩くことができる。

新田委員 距離はかなり縮小されているが、今年度の事業費としては、この予算でできるということですか。

団体 予定している作業、看板代などは十分足りると考えています。

榎本委員長 団体には多様な方がいらっしゃるようですが、皆さん手伝ってくれそうですか。

団体 この中で、3分の1くらいですかね。私どもも高齢化で、若い方を増やそうということで、つい先日50代の方が入りました。新しい会員を増やそうと思っています。

事業番号 14

事業名 そばを栽培して手打ちで食べよう

団体名 NPO 法人いきいき清和

発表者 鈴木氏、石橋氏

プレゼンテーション

榎本委員長 それでは、事業番号14番、事業名「そばを栽培して手打ちで食べよう」のプレゼンテーションを始めます。発表時間が10分、質疑応答が10分となります。団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

団体 — 企画書にて説明 —

質疑応答

榎本委員長 だいぶ前からやられているという話ですが、今までやっていた時の予算はどこからもってきたのですか。

団体 NPO 法人で自然休養村管理センターの指定管理をやっておりましたので、市から何か事業をやるようにということがありましたので、その中の予算でやっておりました。

榎本委員長 今までどれくらいの広さで植えていたのですか。

団体 四畝から五畝くらいです。今後は、軌道に乗れば、もう少し休耕田等増やしながらやっていけて、地域の方がもっと参加できるような形をとっていききたいと思っています。

榎本委員長 そばの花はとてもきれいですよね。そば打ちとなると大変ですけど、花を見せるのはひとつかなと思ったのですが。

団体 集団で植えてあると、白くてとてもきれいですので、刈り取る前のイベントもできればと思っています。

小林副委員長 耕作放棄地を使うということですが、地主さんへの使用料はいらないのですか？

- 団体 今のところは無償でお借りしていますが、これから拡大するのに新たにお話するところには、借地代くらいは払っていかなくてはと考えています。
- 鈴木委員 6年目になるということで、参加費 3500 円×4 組となっていますが、今までも広く清和以外の方にも呼び掛けてイベントをやってきたということなのでしょうか。
- 団体 指定管理者になった時には、市の事業計画に合ったものに関しては無料でやっていた。指定管理がなくなってからは、会費をいただいてやっています。君津以外からも参加者がいます。
- 鈴木委員 清和では、君津の朝めしというのが新聞等で PR をして大変好評だったと聞いていますが、こちらもそのような形で PR をしていくということなのでしょうか。
- 団体 朝めしは別の団体なのですが、うちの方は、メールや HP、市の広報や公民館でのチラシ配布等です。
- 二瓶委員 参加してくれる人たちは、だいたいどれくらいの年齢ですか。
- 団体 小学生から中学生を持つ家族の参加が多いです。
- 四宮委員 消耗品のところで、5セットということですが、最初の1年は例えば2セットで、あとの3セットは今まで通りお借りするというのは難しそうですか。
- 団体 公民館に行って交渉すれば何とかかなと思いますけど。うちの方も、清和公民館に1つあって、会員の方が2つ持っているので、不足分だけ小糸と小櫃から今は借りているところです。
- 四宮委員 足りなければ、次年度もう一回申請するというのはどうですか。
- 団体 難しくはないですが、今回補助金をいただいて、もし足りなければ NPO で何とかしようかと考えています。

事業番号 15

事業名 こいとα倶楽部

団体名 こいとα倶楽部

発表者 岩澤氏、杉谷氏

プレゼンテーション

榎本委員長 それでは、事業番号15番、事業名「こいとα倶楽部」のプレゼンテーションを開始いたします。発表時間は10分、質疑応答が10分となります。団体名および発表者の紹介をしてから、事業の説明をお願いします。

団体 — 配布資料にて説明 —

質疑応答

榎本委員長 拠点は泉自治会を使っているのでしょうか。

団体 メンバーの中に、人が集まる店を持っている人がいるので、そこを拠点、事務所としています。

榎本委員長 サイクリングロードの道というのはできているのですか。

団体 いえ、道は自由です。走る道は自由です。ただ、どんどん走る人は、極端に言えば千葉から南へ 100km 以上走るのは当然で、スピードを出して走っている。この人たちはたぶんお金を落とさない。いい意味でとれば、小糸は大きい県道を走らずとも、山里コースというのがいっぱいある。イベント時だけ、区長さんを通じて、その土地に小さな看板を立てさせてもらったりするのですが、市の許可も得ていないので、特にコースというのは、その場ではわかりません。ただ、それを地図上にあげて、その地図上で、皆さんの方で「こういったものもあるんだ」、写真見れば、「こんな所があるんだ」ということで。

あとは、我々も知らなかったんですけど、カラーがかなりいっぱい道に点在しているんです。カラーロードとしても今後、組合の方たちに相談しながらやっていければという、私たちの思いです。

カラーは、ハウスの中に入ってしまったってわからないんです。安曇野行ってもどこ行っても、自転車で行くとききれいな場所があります。でも、ビニールをとって中身を見せますなんてことは、生産者さんにとっては何やってんだという話。だた、ひとつだけ JA さんが観覧できる場所を持っている。まだまだ認知度が低い。休憩できる、カラーを見れる、カラーを体験できる、そういったカラーにまつわることも主だって JA さんに「休憩場所にしたい」と相談させてもらっています。

小倉委員 申請がホームページの作成ということですが、作成した後、維持費が掛かると思いますが、その辺はどう考えていますか。

団体 今回、びびなびという広告屋さんに頼もうとしています。なぜかという、我々の方も月々お金を払わなければいけなくなります。そういったものは一切ありません。製作料だけで作っていただいて、その中でびびなびさんに広告を発してもらおう形をとっています。

鈴木委員 毎月の維持費は掛からないということですか。

団体 かからないです。逆に掛からないところを選びました。掛かるところは月 4,000 円とか掛かります。逆に言えば、我々の話を聞いて、びびなびさんとお互いにしましょうということにしまして。お互いの情報交換をしていきましょうという今回のお話で、金額が製作料だけということになっています。

新田委員 お話の中で、小糸を思う気持ちというのは十分に伝わってきたのですが、この活動というのは、だから何がしたいのかというのが申請の要件だと思う

んですね。

最後におっしゃいましたが、小糸カラーというのは千葉県のみならず、全国的にもよく知られている。それを名所や旧跡にしたいから、どういう風にすればいいんだという自分たちの知恵をここで披露してもらいたかったんです。それがこの活動の本来の主たるものじゃないかなと思っているんです。そのために、例えばホームページを開設して、看板を各所に立てて、そういうカラーを見学できるような広報活動をしてきたいと、そうおっしゃれば伝わってくるんですが、今お聞きしていると、他者に依存しているような、そんな風に聞こえるのですが、その辺いかがですか。

団体

今、私が申したのは来年以降の話です。今年の話は、人が来てもらうための考えです。そのためには、まずマップで商店、文化、いろいろと小糸のカラーとか含めて、もったいないので紙化していきたいということなんです。それを作るには、私たちは一軒一軒回ります。皆さんの情報と、マップにつけていいですか、皆さんの情報をいただいていいですかと、その運動をするのが今年の運動です。今年の運動に対して、来てもらうために、まずは私たちは今後はこうしたいという話ですけど、今回来た理由は、皆さんの小糸の知識的なものが周りの人からも薄いので、まずはマップ作りの中で、色々と商店、文化、遊びどころ、自然、歩くところ、色々なものを我々の方でこの1年情報をつかませてもらって、まずはホームページを作らせていただければというのが心情です。

私の方で、熱が入ってしまったので、サイクリングだ云々だというものもあるんですけど、それはまた今後の思いであって、今年の策は、まずはせつかくですから、道の駅も近くにあるという中で、紙上だと近場の人しか来れないので、ホームページの中に地図を作って、皆さんの方で検索しながらでも、このお店に行ったらあるよとか、あそこで自転車が直せるよとか、あそこならカブトムシと遊べるよとか、とういったことで、ホームページの方でマップ作りをしながらやっていきたいなと思っています。

小林委員

申請書の後ろに3枚の団体の名前が載っていますが、この方たちはどういう位置づけでしょうか。

団体

私たちの仲間は、泉がほとんどで、6名ほど泉で形成されています。その形成された中で、これ実年会と申しまして、泉でも動けるメンバーがいます。そのメンバーは、私たちが軸なんですけど、もうひとつの輪が活動のお手伝いをしてくれるというお話をさせていただきたく。ですから、これはアルファ倶楽部ではありません。今までお世話になった方たちがお助けグループということで、イベント時、何かあった時にお助けするよということです。もうひとつは区長さんです。区長さんにはお話させてもらって、サイクリング

コースをやる時には、皆さんの方で許可を得るよという話までさせてもらっています。ただ、サイクリングの方は今年はやりません。予算関係上の中で地図を作るだけという形で動くので、ただ、動くにあたって、我々個人ではないので、皆さんのご協力が必要なので、色々な方たちにも声をかけさせてもらっています。

最後の人たちは、お隣にいる組合さんとか JA さんとか、他含めて、色々活動なさっている方たちです。そういったお話かけているメンバーと、一緒にお互いに切磋琢磨、小糸のことでしたら協力しましょうということで、協力していただける人たちをあげさせていただきました。

座間委員 この中に、現区長さんは入られていますか。

団体 これは2月に連絡をとったので、決まって正式に話はしていないので、現区長さんには私たちの方ではしていません。

座間委員 今の区長さんが中心になってやることも、自治には大事だと思うので、その辺もきちんとお話をしていただいて、サイクリングロードみたいなのは、色々な許可等も出てくるので、区長さんが窓口になるのが一番いいかなと思いますので、ぜひそこは実現させてください。

榎本委員長 カラーの生産者は今どれくらいいらっしゃいますか。

団体 今のところ33名です。花卉組合全体ですと、ミモザなどもあるので、43名くらいいます。

二瓶委員 小糸に人を呼びたいということですが、SNS 等は使用していますか。

団体 まだしていません。活動をまだしていないので。今現在はしていません。おっしゃるように、人が人を呼ぶので。20年前とは違って、今はデジタルの時代で、そういった形も今後は考えているというか、必然的にどんどんそれが回っていただければと思います。

議題4「令和6年度2次募集申請事業の採択協議について」（非公開）

閉会(午後15時30分)